新任労働基準監督官の実地訓練の様子を紹介します。

埼玉県での中央研修が終わると、それぞれ配属先の労働局で実地訓練が始まります。

栃木労働局では、近隣の群馬労働局や茨城労働局とも連携しながら、特殊な分野についても、必要な実地訓練を実施しています。

令和 5 年度は 11 月に林業、12 月に加工用機械とダム工事、1 月に 2 か所のトンネル工事、港湾荷役の現場で実地訓練を実施しました。貴重な現場で生の作業を肌で感じることができました。

ご協力頂いた各団体及び企業様には感謝申し上げます。

林業

（ご協力：鹿沼森林組合）

林業の伐採、集材、造材作業などを見学しました。

チェーンソーの特性について説明を受けました。

各種加工用機械

（ご協力：栃木県立県央産業技術専門校）

様々な加工用機械について、使用方法や加工目的について説明を受ける監督官たち。

ダム工事

（ご協力：大成建設（株）関東支店　南摩ダム本体建設工事）

全国的にも珍しいダム工事の現場で、群馬労働局・茨城労働局と合同の実地訓練を実施しました。

トンネル工事

（ご協力：鹿島建設(株)関東支店　思川開発導水路工事）

トンネル内を移動して、先端の掘削作業現場を確認しました。

シールドマシンの前で説明を受ける監督官たち。

港湾荷役と製鉄業

（ご協力：日本製鉄株式会社東日本製鉄所）

茨城労働局主催の訓練に参加しました。数少ない国内にある製鉄の高炉です。

フォークリフト荷役

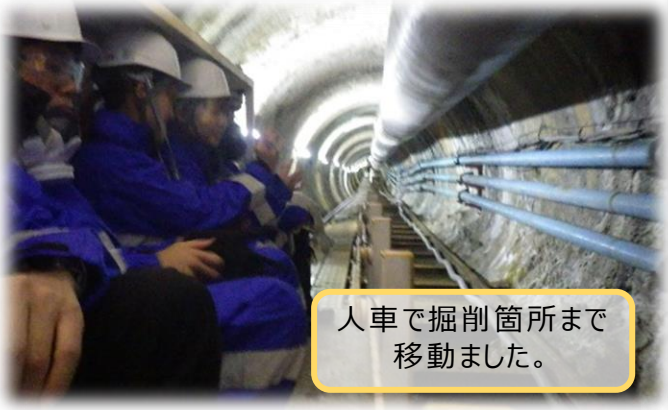
（ご協力：トヨタ L&F 栃木(株)）

フォークリフトの特性や、安全に使用するための留意点について説明を受けました。

フォークリフトも種類によって、特性が異なります。リーチフォークリフトについて説明を受けました。

トンネル工事（山岳工法）

（ご協力：(株)奥村組思川工事事務所）



人車で掘削箇所まで移動ました。

掘削の後方について説明を受けました。